

事例

「食」を通じてつながる輪 ～地域の中ではぐくむ「生きるからだところ」～

学校法人黒田学園 ^{くろだ} 日南幼稚園 ^{にちなん}（宮崎県日南市）

宮崎県日南市にある幼保連携型認定こども園である日南幼稚園では、「食」は単発的な活動ではなく、園全体の活動と関わる「生きる力を養う」ことだと捉え、0歳児から5歳児までのこどもたちが年齢に応じて様々な食に関わる活動をしています。本園の給食は、「バランスの良い食事をみんなで食べる」・「食に興味をもつ」・「自ら進んで食べる意欲を培う」ことを重視しています。

本園では、環境の構成や活動を工夫することでこどもたちの動きたいという欲求を満たし、十分に体を動かして遊びます。たくさん遊ぶとおなかが空きます。食べる喜びを感じられるようにすることを大切に、実践を重ねています。

また、こどもたちの食への関心が高まるよう、口にする食材は可能な限り、食材そのままの形や色、感触を感じることを大切にしています。3歳以上のこどもたちは、農家と連携して、ピーマン、みかん、いちごなど季節を感じる収穫体験やヤギの乳しぼり等を豊富に行います。まだ園バスに乗れない0歳児から2歳児には、季節に応じた食材を調理する前に保育室で存分に触れることができるようにする機会を設けています。園庭にある畑では、年長児が考えた芋や大根などを栽培・収穫しており、低年齢のこどもたちも収穫させてもらったりしながら、「みどりだね」、「まるいよね」、「つぶつぶ」など、こどもたちが実際に見て、感じた食材の特徴について、言葉にしながら食べられるように工夫しています。

さらに、本園では、保護者や地域の方々と連携した取組として、毎月定期的に地域の農業科の高校生と交流を重ねています。高等学校のビニールハウスや畑を借りて、高校生に農業のやり方を学びながら、高校生と一緒に芋の苗植えや水やり、収穫等の農業体験をしています。また、保護者の方の協力を得て、醤油工場の見学を行い、醤油ができるまでの製造過程を実際に見て、説明を聞き、食についての理解を深めています。

こどもたちは、こうした体験を通じて、地域の生産者と製造者の方々を身近に感じ、新たな気づきを得るとともに、食の営みには多くの人に関わっていること、そして、自分たちの生活とのつながりを理解していくものと考えています。

今後も遊びや活動を通して、地域と連携して乳幼児期にふさわしい豊かな体験が得られるように取り組んでいきます。



すいかをたたいたり、転がしたりして
感触を確かめるこどもたち



農業高校の生徒との農業体験



醤油の製造工程を見学